

PCJF文献リスト

文献表題	副題	著者	出版社	発行年 ※再版年を記入
あゝ祖国よ恋人よ	きけわだつみのこえ	上原良司 中島博昭	上原清子	1999
アイヌが生きる河		北川大	樹花舎	2003
暁の寺のある町	にわか外交官夫人のタイ国滞 在記	鶴文乃	勁草書房	1983
あごら 285号	緊急発信広河隆一写真集 アメリカはイラクで何をしたか	あごら新宿	アゴラ新宿	2003
朝風 季刊	戦争体験の継承 不戦の誓 い	谷田川和夫	朝風の会事務局	2007
アジア太平洋戦争下の大学と軍隊		白井厚 松村高夫	横浜・川崎平和のための戦争展実行委員会	2001
@Fukushima	私たちの望むものは	高田昌幸	産学社	2011
あなたの隣に 発達障害と向き合う		下野新聞社編集局発達障害取材 班		
あなたは「三光作戦」を知っていますか	日本にも戦争があった2	坂倉清 高柳美知子	新日本出版	2007
あなたはやっていない	法医鑑定医50年の経験から	内藤道興	STEP	1999
あのころはフリードリヒがいた		ハンス・ペーター・リヒター	岩波書店	1977
あの日のこと	ぼくの消えない記憶・1945. 09	西山進	クリエイティブ21	2005
あの日を伝えたい	戦後50周年コープとうきょう 戦争体験文集	生活協同組合コープとうきょう 組 織部	生活協同組合コープとうきょう	1995
アフガニスタンに住む彼女からあなたへ		山本敏晴	白水社	2004
アフガン戦争を憲法9条と非武装自衛隊で終わらせる		伊勢崎賢治	かもがわ出版	2010
危ない！戦争がつくられる	一庶民の反省と不安	青木みか	風媒社	2006
アメラジアン	もうひとつの沖縄	上里和美	かもがわ出版	1998
荒井シズエ思っきり人生	93歳ポナベ旅	荒井なみ子	東京高齢者協同組合	1997
新崎盛暉が説く 構造的沖縄差別		新崎盛暉	高文研	2012
有明山に日かげさし 第4集 -上原良司の遺した思い-		長野県豊科高等学校JRC福祉ク ラブ	長野県豊科高等学校JRC福祉クラブ	2007
あるシマンチュウの肖像	奄美から神戸へ、そして阪神 大震災	大山勝男	みずのわ出版	1999

あれは何だったのか 続あゝノモンハン生きている「英霊」を想う		楠裕次		1992
いいかこといっぱいあつと		江口保	クリエイティブ21	1998
怒れ！自由の女神よ		柴野徹夫	憲法9条・メッセージ・プロジェクト	2008
生きて生きぬいて恵子と明子	ある中国残留孤児をめぐる百年の記憶	向井嘉之	青青編集	2009
いじめの現場	子どもたちの叫び声	朝日学生新聞社	朝日ソノラマ	2002
礎に生きて			礎会東京事務局	1996
石巻赤十字病院の100日間	東日本大震災 医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記	石巻赤十字病院 由井りょう子	小学館	2011
いたずらチャコ姫外交官		島田典子	れんが書房新社	1995
1フィート運動 10周年記念誌		10周年記念誌編集委員会	子どもたちにフィルムを通して沖縄戦を伝える会	1993
一度は訪ねてみたい戦争遺跡 本土決戦の虚像と実		山田朗 日吉台地下壕保存の会	高文研	2011
命つないで		茅野丈二 平野伸人 高比良由紀	長崎新聞社	2010
いのちの証Ⅰ	原爆被害と被爆者	長崎原爆被災者協議会	長崎原爆被災者協議会	1995
いのちの証Ⅱ	被爆者が生きた「昭和」	長崎原爆被災者協議会	長崎原爆被災者協議会	1995
いま憲法9条を	宗教者は語る	「しんぶん赤旗」取材班	日本共産党中央委員会出版局	2007
いま、なぜ憲法改正国民投票法なのか		井口秀作 浦田一郎 只野雅人 三輪隆	蒼天社	2006
いまに問うヒバクシャと戦後補償		高橋博子 竹峰誠一郎	凱風社	2006
いま再び欧米の生協の成功と失敗に学ぶ		日本生活協同組合連合会 生協総合研究所	コープ出版	1997
医療から見た阪神大震災まちづくりの始まり		上田耕蔵	兵庫部落問題研究所	1997
インド40年	展望と回顧	牧野財士	よろず医療会ラダック基金	2001
尹奉吉 暗葬の地・金沢から		山口隆	社会評論社	1994
上原良司と特攻隊 写真展開催記念ブックレット		安島太桂由	安島写真事務所	2010
動く絵の作家	荒井英郎	坂崎武彦	講談社出版サービスセンター	1993
ウシがゆく	植民地主義を探検し、私をさがす旅	知念ウシ	沖縄タイムス社	2010
失われた言葉を求めて		南嘉久	編集室ふたりから	2002
うちなー讃歌	沖縄戦が終わって60年目に	外間喜明		2005

美しい村に放射能が降った	飯舘村長・決断と覚悟の120日	菅野典雄	ワニ・プラス	2011
えひめ丸事故	怒りと悲しみの狭間で	山中利之	創風社	2006
大阪で闘った朝鮮戦争		西村秀樹	岩波書店	2004
おカネが変われば世界が変わる		田中優	コモンズ	2008
オキナワ	海を渡った米兵花嫁たち	澤岷悦子	高文研	2000
沖縄	平和への道 基地なしに生きる選択	糸数慶子	資料センター本郷	2005
沖縄からの告発	うないとして、人間として	桑江テル子	ゆい出版	1999
沖縄戦	強制された「集団自決」	林博史	吉川弘文館	2009
沖縄戦と基地	沖縄平和ネットワークの軌跡	沖縄平和ネットワーク会報部会	沖縄平和ネットワーク	2008
沖縄 近い昔の旅	非武の島の記憶	森口裕	凱風社	1999
沖縄同時代史(2001~2003)	新たな思想は創れるか 9.11と平和運動	新崎盛暉	凱風社	2004
沖縄独立の系譜	琉球国を夢見た6人	比嘉康文	琉球新報社	2004
沖縄のころへの旅		稲垣忠	高文研	2005
沖縄の反戦ばあちゃん	松田カメ口述生活史	平松幸三	刀水書房	2001
オスプレイ配備の危険性		真喜志好一 リムピース+非核市民宣言運動・ヨコスカ	七つ森書館	2012
襲われて	産廃の闇、自治の光	柳川喜郎	岩波書店	2009
お隣の脱走兵		斎藤憐	而立書房	2001
おみすてになるのですか		杉山千佐子	クリエイティブ21	1999
改憲・護憲 何が問題か	徹底検証・憲法調査会	高田健	技術と人間	2002
外国人研修生殺人事件		安田浩一	七つ森書館	2007
還らざる楽園	ビキニ被曝40年 核に蝕まれて	島田興生	小学館	1994
顔のない国	戦後の虚妄と国の品位喪失を問う	飯田進	不二出版	2001
隠されたヒバクシャ	検証＝裁きなきビキニ水爆被災	高橋博子 竹峰誠一郎 中原聖乃	凱風社	2005
核実験場8月29日		K.B.Boztaev	WHO西太平洋地域甲状腺協力センター	1999
学徒勤労働員の記録	戦争の中の少年・少女たち	神奈川の学徒勤労働員を記録する会	高文研	1999

核の海の証言	ビキニ事件は終わらない	山下正寿	新日本出版	2012
核廃絶へのメッセージ		土山秀夫	日本ブックエース	2011
かけはし	ハンセン病回復者との出会いから	小川秀幸	近代文芸社	2009
過去を語る	南国の白花	井上昌代	東南アジアへの自主研修の旅の会	1995
カシミール／キルド・イン・ヴァレイ	インド・パキスタンの狭間で	廣瀬和司	現代企画室	2011
飢死した英霊たち		藤原彰	青木書店	2001
歌集 小さな抵抗	殺戮を拒んだ日本兵	渡部良三	岩波書店	2011
悲しみを乗り越えて共に歩もう		西村一郎	合同出版	2012
金子さんの戦争	中国戦線の現実	熊谷伸一郎	リトルモア	2005
彼女の夢みたアフガニスタン		山本敏晴	マガジンハウス	2004
ガリ切りの記	生活記録運動と四日市公害	澤井余志郎	影書房	2012
カレンさんコスタリカを語る	いちばん大切なことは命を大事にすることです	カレンさん招へい実行委員会	草の根出版会	2003
環境と平和		和田武	あけび書房	2009
環境レイシズム	アメリカ「がん回廊」に行く	本田雅和 風砂子・デアンジェリス	解放出版社	2000
神田さち子語り芝居	帰ってきたおばあさん	良永勢伊子		
聞いてください脱原発の道しるべ		坂田静子	オフィスエム	2011
季刊 中帰連 第23号		金井貞直		2002
季刊 中帰連 第24号		金井貞直		2003
季刊 中帰連 特集「中国派日本戦犯に何をしたか」		絵鳩毅		1997
季刊誌 中帰連 創刊号		絵鳩毅	中帰連発行所	1997
聞き書きによる被爆体験証言集9 つたえてくださいあしたへ……		エフコープ生活協同組合	エフコープ生活協同組合	2003
北朝鮮に消えた友と私の物語		萩原遼	文藝春秋	1998
基地の島沖縄 国策のまちおこし	嘉手納からの報告	渡辺豪	凱風社	2009
希望と絆	いま、日本を問う	姜尚中	岩波書店	2009
希望の平和学	「戦争を地球から葬る」ための11章	山川剛	長崎文献社	2008
希望を語り、希望を学ぶ	これからの平和教育	山川剛	海鳥社	2005

君は君のままがいい	10代との対話と共同	佐藤洋作	ふきのとう書房	1998
木村早苗写真集 広島の声なき語りべたち 被爆樹木写真		木村早苗	文芸社	2008
協同で仕事をおこす		広井良典	コモンズ	2011
記録と記憶のトライアングル -韓国、在日、沖縄を撮る10人の眼-		記録と記憶のトライアングル -韓国、在日、沖縄を撮る10人の眼- 実行委員会		
疑惑のアングル	写真の嘘と真実、そして戦争	新藤健一	平凡社	2006
空白の20時間	原爆被爆惨状絵図	長崎県被爆者手帳友の会	長崎県被爆者手帳友の会	1997
桑原史成写真全集 第一巻 水俣		桑原史成	草の根出版会	2004
桑原史成写真全集 第三巻 筑豊/沖縄		桑原史成	草の根出版会	2004
軍医にはならない		核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい	核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい	2000
軍縮問題資料 172号	特集 地球市民の環境学		宇都宮軍縮研究室	1995
軍縮問題資料 238号	特集 私たちが平和を創る		宇都宮軍縮研究室	2000
軍隊のない国家		前田朗	草の根出版会	1997
群読 日本国憲法	国民の”権利の章典”としてとらえ返す	監督:高良鉄美、脚本原案:毛利豊、演出:堀口始、出演:青年劇	高文研	2007
けーし風	特集:沖縄戦の<語り>と継承	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1994
けーし風	特集:それぞれの戦後体験-「戦後50年を問う」-	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1994
けーし風	特集:「学校」が嫌い!?-荒廃の根底にあるもの-	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1994
けーし風	特集:まーかいが、うるま島-山ヌハギーネー、海ンハ	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1994
けーし風	特集:うりずんの島への手紙-外から見た沖縄	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1995
けーし風	特集:このステージで生きてい	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1995
けーし風	特集:沖縄・自立への胎動	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1997
けーし風	特集:琉球弧を貫く音楽	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1997
けーし風	特集:越境する人びとと沖縄	新沖縄フォーラム	新沖縄フォーラム刊行会議	1997
月刊 たくさんのふしぎ 139号 「マーシャルの子どもた		島田興生	福音館書店	1996

決断	謀略・鹿地事件とわたし そして国民救援会	山田善二郎	光陽出版社	2000
圏央道 土地収用と闘った20年	わが家に住み続けたかった	酒井喜久子	太陽出版	2004
検証	非核の選択	杉田弘毅	岩波書店	2005
検証	ニコン慰安婦写真展中止事件	新藤健一	産学社	2012
原子炉時限爆弾	大地震におびえる日本列島	広瀬隆	ダイヤモンド社	2010
原発の間	その源流と野望を暴く	赤旗編集局	新日本出版	2011
原爆写真 ノーモア ヒロシマ・ナガサキ No More Hiroshima Nagasaki		黒古一夫 清水博義	日本図書センター	2005
原爆症認定訴訟が明らかにしたこと	被爆者とともに何を勝ち取ったか	東京原爆症認定集団訴訟を記録する会	あけび書房	2012
原爆と検閲		繁沢敦子	中央公論新社	2010
原発 樋口健二写真集		樋口健二	オリジン出版センター	1979
原発破局を阻止せよ！		広瀬隆	朝日新聞出版	2011
憲法くん出番ですよ	憲法フェスティバルの20年	憲法フェスティバル実行委員会	花伝社	2007
憲法・平和主義を掘る	ベトナム戦争・コスタリカ・矢臼別	札幌郷土を掘る会	札幌郷土を掘る会	2001
考証 ノモンハン事件 -つきとめたその真実-		楠裕次		2005
高齢者協同組合は何をめざすのか		高瀬毅	シーアンドシー出版	1996
公論よ起これ！	「日の丸・君が代」法制化論議のなかで「日の丸・君が代」の封印を解く	藤本卓	太郎次郎社	1999
誤解だらけの沖縄・米軍基地		屋良朝博	旬報社	2012
国際法からみたイラク戦争		C.G.ウィーラマントリー	勁草書房	2005
告発！ サイクル機構の「40リットル均一化注文」		望月彰	世界書院	2004
心と戦争		高橋哲哉	晶文社	2003
子どもに伝える戦争体験		鳥取県婦人新聞	鳥取県連合婦人会	1989
子どもの命を守る分離信号 -信号はなぜあるの？-		長谷智喜	生活思想社	1999
この子たちのアフガン		川崎けい子	オーロラ自由アトリエ	2001
これだけは伝えておきたい ビキニ事件の表と裏 -第五福竜丸・乗組員が語る-		大石又七	かもがわ出版	2007

魂鎮への道 -無意味な死から問う戦争責任- 読後感 抜粋		飯田進		1997
細菌戦は実行されていた		平和資料館・草の家		1999
さよならアトミック・ドラゴン	核と原発のお話	西岡由香	凱風社	2012
さらば外務省！	私は小泉首相と売国官僚を 許さない	天木直人	講談社	2003
ざわわざわの沖縄戦	さとうきび畑の慟哭	田村洋三	光人社	2006
38度線・非武装地帯をあるく		小田川興	高文研	2008
3.11メルトダウン	大津波と核汚染の現場から	日本ビジュアル・ジャーナリスト協 会	凱風社	2011
自衛隊ではなく、9条を世界へ		高田健	梨の木舎	2008
自衛隊という密室	いじめと暴力、腐敗の現場か ら	三宅勝久	高文研	2009
自衛隊の国際貢献は憲法9条で	国連平和維持軍を統括した 男の結論	伊勢崎賢治	かもがわ出版	2008
自衛隊の周辺事態出動		小西誠 片岡顕二 藤尾靖之	社会批評社	1998
4月29日の尹奉吉		山口隆	社会評論社	1998
詩集 大邱へ		新井豊吉	土曜美術社出版販売	2000
沈まぬ夕陽	満蒙開拓の今を生きる中島 多鶴	中繁彦	信濃毎日新聞社	2004
私説 あゝノモンハン 生きている「英霊」を想う		楠裕次		1991
持続可能な「社会的経済」への革新	生命地域づくりで経済的基盤 をつくる	大嶋茂男	生活ジャーナル	2004
自治研なら 77号		田中佐登志	奈良県地方自治体研究センター	2000
知ってほしいアフガニスタン		レシャード・カレット	高文研	2009
自転車のある風景	ヨーロッパ・北欧	金沢靖	ソシム	1999
支那事変従軍日誌		石塚幸市		1995
死の工場	隠蔽された731部隊	シェルダン・H・ハリス	柏書房	1999
司馬遼太郎の歴史観	その「朝鮮観」と「明治栄光 論」を問う	中塚明	高文研	2009
シマが基地になった日	沖縄伊江島二度めの戦争	真鍋和子	金の星社	1999
島唄の奇跡	白百合が奏でる恋物語、そし てハンセン病	吉江真理子	講談社	2005

市民投票報告集 名護市民燃ゆ -新たな基地はいらない-		名護市民投票報告集刊行委員会	海上ヘリ基地建設反対・平和と名護市政民主化を求める協議会	1999
週刊金曜日 181号 原発の終焉と電力新時代				1997
週刊金曜日 394号 飢えと寒さで死にゆくアフガンの		岡田幹治	金曜日	2002
週刊金曜日 434号 ドクターハラスメント2 命、あずけられますか		岡田幹治	金曜日	2002
週刊金曜日 454号 イラク攻撃ブッシュの誤算 小泉の醜態		岡田幹治	金曜日	2003
週刊金曜日 456号 イラク侵略終わりなき始まり		岡田幹治	金曜日	2003
週刊金曜日 457号 憲法特集 戦争と平和		岡田幹治	金曜日	2003
週刊金曜日 910号 子どもの虐待		平井康嗣	金曜日	2012
住基ネットと人権		藤田悟	現代書館	2005
終章を生きる 2025年超高齢化社会			下野新聞社	2011-2012
終章を生きる 2025年超高齢化社会 -追加 関連記事・特集-			下野新聞社	
従属から自立へ	日米関係を変える	前田哲男	高文研	2009
住民投票	20世紀末に芽生えた日本の新ルール	今井一	日本経済新聞社	1997
証言 沖縄「集団自決」	慶良間諸島で何が起きたか	謝花直美	岩波書店	2008
証言・沖縄戦 沖縄一中	鉄血勤皇隊の記憶(上)	兼城一	高文研	2000
証言・沖縄戦 沖縄一中	鉄血勤皇隊の記録(下)	兼城一	高文研	2005
証言1997	ヒロシマ・ナガサキの声	長崎の証言の会	汐文社	1997
小中高の教科書が教えない日の丸、君が代の歴史		板垣英憲	同文書院	1999
少年たちの満州	満蒙開拓青少年義勇兵の軌跡	新井恵美子	論創社	2007
昭和史の落丁、ノモンハンを考える	『ノモンハンの真実』に寄せられた63人の所感集	楠裕次		2000
昭和の闇を生きて		飯田進	不二出版	2013
食糧運動をたおやかに	生協懇10年の轍とこれからの路	宮村光重	コープ出版	2004
女子学生の長崎原爆の記憶	時のかたみに	中野道子	皓星社	1999

女子挺身隊の記録		いのうえせつこ	新評論	1998
しらべる戦争遺跡の事典		十菱駿武 菊池実	柏書房	2002
シリーズ・花岡事件の人々	第1集 強制連行	野添憲治	社会評論社	2007
シリーズ・花岡事件の人々	第2集 蜂起前夜	野添憲治	社会評論社	2008
シリーズ・花岡事件の人々	第3集 花岡鉦山	野添憲治	社会評論社	2008
シリーズ・花岡事件の人々	第4集 戦争責任	野添憲治	社会評論社	2008
資料「君が代」訴訟		「君が代」訴訟をすすめる会	緑風出版	1999
資料集 -記憶から記録へ- 戦後還暦 全国の新聞は何を伝えたか		聖泉大学人間学部 向井嘉之	聖泉大学人間学部	2008
進化する協同組合が未来をひらく -社会連帯経済と地域再生政策-		市民セクター政策機構	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会	2007
新時代の医療ソーシャルワークの理論と実際	ヒロシマに学ぶ	村上須賀子	大学教育出版	2005
信州に残すこの体験	わたしの戦後50年	市民新聞グループ	市民新聞グループ	1995
新装版 南京大虐殺 記憶の暗殺 東史郎はなぜ裁判に負けたか		内山薫	世界知識出版社	2008
新版 日本人花嫁の戦後	韓国・慶州ナザレ園からの証言	伊藤孝司	LYU工房	1996
新聞と戦争		朝日新聞「新聞と戦争」取材班	朝日新聞出版	2008
新聞は戦争を美化せよ!	戦時国家情報機構史	山中恒	小学館	2001
杉並の女性史	明日への水脈	杉並区女性史編さんの会	ぎょうせい	2002
健やかに輝く人生を	高齢者協同組合の船出	若月俊一 市川英彦 武居洋 沢田清方	長野県高齢者協同組合	1996
すてられた民の記録		山形県中国帰国者自立研修センター	山形県中国帰国者自立研修センター	2003
棄てられた皇軍	朝鮮・台湾の軍人・軍属たち	伊藤孝司	影書房	1995
ストップ・ザ・汚職議員!	市民運動の記録	汚職に関係した候補者に投票をしない運動をすすめる会	新宿書房	1980
砂時計主義		黒川純	随想舎	2008
図録「東京大空襲」		東京大空襲60年の会	東京大空襲60年の会	2005
生活環境主義でいこう!	琵琶湖に恋した知事	嘉田由紀子 古谷桂信	岩波書店	2008

生協再生への挑戦	コープこうべの「創造的復興」から学ぶべきものはなにか	くらしと協同の研究所	コープ出版	1997
生協のいまを考えるⅡ		かながわ生活労働組合	かながわ生活労働組合	2010
生協の環境マネジメント・監査	コープとうきょうの挑戦を追う	佐藤範明	コープ出版	1996
世界に平和アピールを発し続けて	七人委員会46年の歩み	世界平和アピール七人委員会	平凡社	2002
世界は変えられる	TUPが伝えるイラク戦争の「真実」と「非戦」	TUP(Translator United for Peace=平和をめざす翻訳者たち)	七つ森書館	2004
世界は変えられるⅡ	戦争の被害者って？加害者って？	TUP(Translator United for Peace=平和をめざす翻訳者たち)	七つ森書館	2004
世界を変える非暴力		阿木幸男	現代書館	2010
戦艦大和	生還者たちの証言から	栗原俊雄	岩波書店	2007
戦後沖縄の人権史	沖縄人権協会半世紀の歩み	沖縄人権協会	高文研	2012
戦後60年 傷はまだ癒えない	続・ハルモニの声	名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会	名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会	2005
戦場の宮古島と「慰安所」	12のことばが刻む「女たちへ」	日韓共同「日本軍慰安所」宮古島調査団	なんよう文庫	2009
戦場の枯葉剤	ベトナム・アメリカ・韓国	中村梧郎	岩波書店	1995
戦争遺跡から学ぶ		戦争遺跡保存全国ネットワーク	岩波書店	2003
戦争遺跡を歩く	日吉	日吉台地下壕保存の会運営委員会	日吉台地下壕保存の会	2006
戦争中毒	アメリカが軍国主義を脱け出せない本当の理由	ジョエル・アンドレアス	合同出版	2002
戦争で死ぬ、ということ		島本慈子	岩波書店	2006
戦争と教科書	国民総マインド・コントロールの謎	小柴昌子	かもがわ出版	2000
戦争と性	韓国で「慰安婦」と向き合う	高柳美知子 岩本正光	かもがわ出版	2007
戦争と知識人を読む		加藤周一 凡人会	青木書店	1999
戦争と人間	守るべき国家とは何か	小島清文	昭和出版	1999
戦争のない世界へ	5大陸20にいが語り尽くす憲法9条	グローバル9条キャンペーン	かもがわ出版	2007
戦争報道		武田徹	筑摩書房	2003
戦争を取材する	子どもたちは何を体験したのか	山本美香	講談社	2011
戦争を歩く・みる・ふれる		川崎・横浜平和のための戦争展実行委員会	教育史料出版会	2001
憎悪と和解の大江山	あるイギリス兵捕虜の手記	フランク・エバンス	彩流社	2009

創世 第34号		慶應義塾大学経済学部白井厚研究会OBG会		2006
創世 第35号		慶應義塾大学経済学部白井厚研究会OBG会		2007
続 しらべる戦争遺跡の事典		十菱駿武 菊池実	柏書房	2003
続 大地の余燼		酒井太一 青木長年	酒井太一	2005
ソ満国境・15歳の夏		田原和夫	築地書館	1998
ソ満国境・関東軍要塞はいま	日中共同調査から	菊池実	かもがわ出版	2001
大学とアジア太平洋戦争 -戦争史研究と体験の歴史		白井厚	日本経済評論社	1996
第五福竜丸エンジンを東京・夢の島へ 都民運動の記		「第五福竜丸エンジンを東京・夢の島へ」都民運動	第五福竜丸エンジンを東京・夢の島へ都民運動の記録編集委員会	2000
第3回 国連軍縮特別総会	要請行動 報告集	子どもたちにフィルムを通して沖縄戦をつたえる会	子どもたちにフィルムを通して沖縄戦をつたえる会	1988
第36回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 報告集		今治市の戦災を記録する会	空襲・戦災を記録する会全国連絡会議今治大会実行委員会 今治市の戦災を記録する会	2007
第十堰日誌		姫野雅義	七つ森書館	2012
台湾新世代 -脱中国化の行方-		近藤伸二	凱風社	2003
台湾疎開「琉球難民」の1年11か月		松田良孝	南山舎	2010
台湾の被爆者たち		平野伸人	長崎新聞社	2012
高嶋教科書裁判が問うたもの		高嶋教科書訴訟を支援する会	高文研	2006
他者の特攻 -朝鮮人特攻兵の記憶・言説・実像-		山口隆	社会評論社	2010
脱ニッポン記 反照する精神のトポス 下		米田綱路	凱風社	2012
脱ニッポン記 反照する精神のトポス 上		米田綱路	凱風社	2012
断て！暴力 検証・長崎市長射殺事件		長崎新聞社報道部	長崎新聞社	2008
だれのための「日の丸・君が代」？ そのウソと押しつけ		広島県教職員組合協議会	明石書店	1999
短編小説 浜に立つ女たち		大成勝代	米蔵の会	2008
地域青年運動50年史 -つながりの再生と創造-		日本青年団協議会	日本青年団協議会	2001
地域青年団体リーダー養成に関する研究開発事業報告書Ⅲ		日本青年館 青年問題研究所	日本青年館 青年問題研究所	2001
チェチェンで何が起きているのか		林克明 大富亮	高文研	2004

ちえちゃんの卒業式		星川ひろ子	小学館	2000
中学生マジに近現代史		増田都子	ふきのとう書房	1997
中国工業合作運動関係資料目録・「工合」関係者へのインタビュー		菊池一隆		1993
中国人強制連行の生き証人たち		鈴木賢士	高文研	2003
中国人就学生と中国帰国子女 -中国から渡日した子どもたちの生活実態と言語-		山田陽子	風媒社	2010
中坊公平の追いつめる		高尾義彦	毎日新聞社	1998
ちょっと待ったあ！ 教育基本法「改正」	「愛国心教育」「たくましい日本人」「心のノート」のねらいを斬る	斎藤晴雄 小森陽一 古野博明 依義文 三宅晶子	学習の友社	2003
朝鮮人被爆者 孫振斗裁判の記録 -被爆者補償の原		中島竜美	在韓被爆者問題市民会議	1998
長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」パンフレット(資料		柴田昌平	プロダクション・エイシア 映画「ひめゆり」を観 る会	2007
ちえ子ばあちゃんの おさなあそび (がっこう編)		松尾ちゑ子	絵手紙株式会社	2004
ちえ子ばあちゃんの おさなあそび (ふるさと編)		松尾ちゑ子	絵手紙株式会社	2004
追及・北海道警「裏金」疑惑		北海道新聞取材班	講談社	2004
つきれ下駄とズック		鶴文乃	サンパウロ	1995
つながって ひろがって -被爆者のおもいを受けつぐ 学生たち-		佛教大学社会福祉学科黒岩アフ ターゼミ	クリエイツかもがわ	2007
低線量内部被曝の脅威 -原子炉周辺の健康破壊と疫 学的立証の記録-		ジェイ・マーティン・グルード	緑風出版	2011
手紙一通ぶんの勇気を マイペンライは、はつらつ元気 のおまじない		鶴文乃	大村出版	1994
デニス・クシニッチ -アメリカに平和の大統領を！-		デニス・クシニッチ きくちゆみ	ナチュラルスピリット	2003
天皇の軍隊と平頂山事件		高尾翠	日本出版社	2005
どうしてもダムなんですか？ -淀川流域委員会奮闘記		古谷桂信	岩波書店	2009
東海村「臨界」事故 -国内最大の原子力事故・その責 任は核燃機構だ-		槌田敦 JCO臨界事故調査市民 の会	高文研	2003

遠い、遠い、遠い夏の日。		明坂尚子	文化出版局	2003
ドキュメント 高校中退 -いま、貧困がうまれる場所-		青砥恭	筑摩書房	2009
ドキュメント 請負労働180日		戸室健作	岩波書店	2011
ドキュメント 防衛融解 指針なき日本の安全保障		半田滋	旬報社	2010
都市に村をつくる -「協同組合コミュニティ」に根ざした 国づくりのために-		石見尚	日本経済評論社	2012
泊・横浜事件70年 端緒の地からあらためて問う		金澤敏子 阿部不二子 瀬谷實 向井嘉之	梧桐書院	2012
囚われのイラク 混迷の「戦後復興」		安田純平	現代人文社	2004
どんぐりの家のデッサン		山本おさむ	岩波書店	1998
飛んだり跳ねたりしぼんだり -思い出すままの記-		荒井なみ子	同時代社	2002
ナガサキのおばあちゃん		高橋克雄	「ナガサキのおばあちゃん」出版支援会	2006
長崎 旧浦上天主堂 1945-58 -失われた被爆遺産-		高原至 横手一彦 ブライアン・ パークガフニ	岩波書店	2010
長崎・そのときの被爆少女 -65年目の『雅子斃れず』-		稲尾和彦 返田雅之 ブライアン・ パークガフニ 横手一彦	時事通信出版局	2010
長崎曼荼羅 -東松照明の眼1961~		東松照明	長崎新聞社	2005
なぜ加害を語るのか -中国帰還者連絡会の戦後史-		熊谷伸一郎	岩波書店	2005
ナヌムの家 アジアで女性として生きるということ				
虹のメッセージ		末川千穂子	かもがわ出版	2001
21世紀を拓く新しい協同組合原則		日本生活協同組合連合会	コープ出版	1996
20年間の水曜日 -日本軍「慰安婦」ハルモニが叫ぶゆ るぎない希望-		尹美香	東方出版	2011
2003年度 JHP・学校をつくる会活動記録集	世界に花をひとつずつ	JHP・学校をつくる会	JHP・学校をつくる会	2003
日本・中国・韓国＝共同編集 未来をひらく歴史 東ア ジア3国の近現代史		日中韓3国共通歴史教材委員会	高文研	2005
日本一周 平和巡礼旅日記		尾形隆憲	近代文藝塾社	1996
日本戦没学生思想 -「わだつみのこえ」を聴く-		岡田裕之	法政大学出版局	2009
日本人花嫁の戦後 -韓国・慶州ナザレ園からの証言-		伊藤孝司	LYU工房	1995
日本人への遺書		天本英世	徳間書店	2000

日本にも戦争があった -731部隊元少年隊員の告白-		篠塚良雄 高柳美知子	日本出版社	2004
日本の現場 -地方紙で読む-		高田昌幸 清水真	旬報社	2010
日本の現場 地方紙で読む2012		花田達朗 高田昌幸 清水真	旬報社	2012
人間社会回復のために -現代市民社会論-		佐藤慶幸	学文社	2008
熱血弁護士世界旅		梓澤和幸	花伝社	1996
ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？	ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」	アレン・ネルソン	講談社	2003
農協がおこす地域の福祉 -「JA信州うえだ」の挑戦-		市川英彦 福永哲也 村田隆一	自治体研究社	1998
農政と平和 2001年1号		「農政と平和」研究所	「農政と平和」研究所	2001
農政と平和 2001年2号		「農政と平和」研究所	「農政と平和」研究所	2001
ノーム・チョムスキー		鶴見俊輔	リトルモア	2002
ノモンハン -それは日本陸軍崩壊の序章であった！-		楠裕次		1997
ノモンハンの真実1939-1999		楠裕次		1999
ノモンハン事件って何だったのか	私説・あゝノモンハン第3弾	楠裕次		1994
ハウジングプア 「住まいの貧困」と向きあう		稲葉剛	山吹書店	2009
爆沈・浮島丸 -歴史の風化とたたかう-		品田茂	高文研	2008
長谷川テル -日中戦争下で反戦放送をした日本女性-		「長谷川テル」編集委員会	せせらぎ出版	2007
はだしのゲン①		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン①		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン②		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン②		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン③		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン③		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン④		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン④		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑤		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑤		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑥		中沢啓治	汐文社	1975

はだしのゲン⑥		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑦		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑦		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑧		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑧		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑨		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑨		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑩		中沢啓治	汐文社	1975
はだしのゲン⑩		中沢啓治	汐文社	1975
8月15日からの戦争		今富昭	アストラ	2000
発想の転換 生協 -暮らし・仕事・コミュニティ-		高橋晴雄	同時代社	2001
母と子でみる	軍隊のない国コスタリカ	早乙女勝元	草の根出版会	1997
母の遺したもの		宮城晴美	高文研	2000
バルカンに生きる 旧ユーゴ内戦の記録'91-'96		水口康成	日本放送出版協会	1996
反グローバリズム労働運動宣言		小田裕司	彩流社	2002
反核詩集	忘れじのヒロシマわが悼みうた	栗原貞子	詩集刊行の会	1997
反戦反ファシズムの国際スパイ事件	「ゾルゲ・尾崎」事典	古賀牧人	アピアランス工房	2003
東アジア安全ガイド -快適な旅と暮らしのために-		鶴文乃 広瀬文子	KDDクリエイティブ	1996
非業の生者たち -集団自決 サイパンから満州へ-		下嶋哲朗	岩波書店	2012
非国民がやってきた -戦争と差別に抗して-		前田朗	耕文社	2009
ひずみの構造 -基地と沖縄経済-		琉球新報社	琉球新報社	2012
ビデオで世界を変えよう		津野敬子	草思社	2003
日の丸・君が代 を強制してはならない 都教委通達違憲判決の意義		澤藤統一郎	岩波書店	2006
日の丸・君が代 処分		「日の丸・君が代」処分編集委員会	高文研	2004
日の丸・君が代の戦後史		田中伸尚	岩波書店	2000
ヒバクシャ -ともに生きる-第23号		原爆被害者相談員の会	原爆被害者相談員の会	2006

ヒバクの島マーシャルの証言 -いま、ビキニ水爆被災から学ぶ-		安齋育郎 竹峰誠一郎	かもがわ出版	2004
被爆者たち・HIROSHIMA-NAGASAKI HIBAKUSHA-TACHI -HIROSHIMA・NAGASAKI		森下一徹	小峰書店	1996
被爆者たちの戦後50年		栗原淑江	岩波書店	1995
非武装のPKO -NGO非暴力平和隊の理念と活動-		君島東彦	明石書店	2008
非武装平和憲法と国際政治 -コスタリカの場合-		竹村卓	三省堂	2001
ヒューマン・ライツ 第130号 1月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第131号 2月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第133号 4月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第134号 5月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第135号 6月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第136号 7月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第137号 8月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒューマン・ライツ 第139号 10月		村越末男	部落解放・人権研究所	1999
ヒロシマ ナガサキ 韓国の被爆者たち		山本將文	東方出版	1987
ヒロシマ 核実験抗議座り込み500回の記録		広島平和会館	広島平和会館	1997
ヒロシマを持ちかえった人びと	「韓国の広島」はなぜ生まれたのか	市場淳子	凱風社	2000
ヒロシマ独立論		東琢磨	青土社	2007
フィールドワーク第五福竜丸展示館 -学び・調べ・考えよう-		第五福竜丸平和協会	平和文化	2007
フィリピン・私の家族は国家に殺された -家族を奪われた女性たちの戦い		工藤律子	長崎出版	2010
封印されたヒロシマ・ナガサキ 米核実験と民間防衛計		高橋博子	凱風社	2008
武器によらない国際関係 -アメリカ・ピース・キャラバン報告集-		沖縄「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」	沖縄「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」	1996
福島後「維持可能な日本」をつくる	協同運動と新社会システム	大嶋茂男	合同出版	2011

福祉を食う -虐待される障害者たち-		北村肇	毎日新聞社	1998
不戦 季刊春季号 通巻148号		不戦兵士・市民の会	不戦兵士・市民の会	2008
ぶっそうげの花ゆれて -沖縄戦と女教師-		沖縄県退職教職員の会婦人部	ドメス出版	1984
ぶっそうげの花ゆれて 第2集 -沖縄戦と戦後教育-		沖縄県退職教員の会婦人部	ドメス出版	1995
ぶっそうげの花ゆれて 第三集 -平和を求めて-		沖縄県退職教職員会婦人部	ドメス出版	2003
ぶなの樹林に		鈴木初江	稜線の会	1998
冬の兵士 イラク・アフガン帰還米兵が語る戦場の真実		反戦イラク帰還兵の会 アーロン・グランツ	岩波書店	2009
ブラジル・南米被爆者の歩み あの日がすぎて、巡りくる日々とともに		森田隆 森田綾子	「ブラジル・南米被爆者の歩み」刊行委員会	2001
ベーシックインカムとジェンダー -生きづらさからの解放に向けて		堅田香緒里 白崎朝子 野村史子 屋嘉比ふみ子	現代書館	2011
兵役拒否宣言 -全体主義から個人主義へ-		小谷勝彦	近代文芸社	1997
兵士であること -動員と従軍の精神史-		鹿野政直	朝日新聞社	2005
米軍資料から読み解く 愛媛の空襲		今治明德高等学校矢田分校平和学習実行委員会 藤本文昭	創風社	2005
平和の道しるべⅢ		平和問題懇話会世話人有志	平和問題懇話会世話人有志	1999
平和の道しるべⅡ		平和問題懇話会世話人有志	平和問題懇話会世話人有志	1997
紡績女子工員生活記録集Ⅱ 解説・年表		辻智子	日本図書センター	2008
法廷は何を裁き、何が変わったか -性暴力・民族差別・植民地主義-		女性国際戦犯法廷10周年実行委員会	女性国際戦犯法廷10周年実行委員会	2011
報道弾圧		吉竹幸則	リフレ出版	2011
ぼくたちもそこにいた		ハンス・ペーター・リヒター	岩波書店	1995
ボクの体験したチェルノブイリ -エストニア人リクヴィダートル(事故処理参加者)の手記-		ティート・タルラップ	エストニア・チェルノブイリ・ヒバクシャ基金	2004
ぼくは毒ガスの村で生まれた。あなたが戦争の落とし物に出あったら		化学兵器CAREみらい基金	合同出版	2007
北海道の捕虜収容所 もう一つの戦争責任		白戸仁康	北海道新聞社	2008

本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること -沖縄・米軍基地観光ガイド-		須田慎太郎 前泊博盛 乙黒克行 矢部宏治	書籍情報社	2011
マーティン・ハーウィット 拒絶された原爆展	歴史のなかの「エノラ・ゲイ」	マーティン・ハーウィット 山岡清二 監訳 渡会和子 原純夫訳	みずず書房	1997
孫たちへの証言 -今、書き残しておきたいこと-		福山琢磨	新風書房	1999
孫たちへの証言 -今だから語れること		福山琢磨	新風書房	1998
孫たちへの証言 -心にしまいこんでいたこと-		福山琢磨	新風書房	1997
間違いだらけの少年H -銃後生活史の研究と手引き		山中恒 山中典子	辺境社	1999
まどうてくれ 藤居平一・被爆者と生きる		大塚茂樹	旬報社	2011
身を満州建国の聖業に捧げ 改題 見捨てられた土の戦史の記録 下		石井靖千		2000
身を満州建国の聖業に捧げ 改題 見捨てられた土の戦史の記録 上		石井靖千		2000
未完のノモンハン事件 私説・あゝノモンハン第4弾		楠裕次		1995
水底の岩のこけ 第5集		百瀬正昭	百瀬正昭	2005
三鷹事件 -1949年夏に何が起きたのか-		片島紀男	日本放送出版協会	1999
道遠くとも 弁護士 相磯まつ江 法律を、弱者のために使おう		川口和正	コモンズ	2008
みんなちがってみんないい 生活者がおくる10代へのメッセージ		生活クラブ生協・東京 平和と人権部会	同時代社	1997
矛盾 -ビキニ事件、平和運動の原点-		大石又七	武蔵野書房	2011
ムツとわたし		大和田啓子		2007
もうひとつのビキニ事件 -1000隻をこえる被災船を追う		高知県ビキニ水爆実験被災調査団	平和文化	2004
元・社会部記者がみた 世界紛争地域巡礼行		松崎三千蔵	日中出版	1996
八重山合衆国の系譜		三木健	南山舎	2010
灼かれてもなお 山口仙二聞書		藤崎真二	日本原水爆被害者団体協議会	2002
やっと名医をつかまえた	脳外科手術までの七十七日	下田治美	新潮社	1999
山本美香 中継されなかったバグダッド		山本美香	小学館	2003

ユダヤを読むとオウムが生まれてくる -オウム事件の謎を解く-		奥田広隆	近代文芸社	1996
赦し 長崎市長 本島等伝		横田信行	にんげん出版	2008
ようすけ君の夢		佛教大学社会学部・社会福祉学科 社会福祉援助技術演習ゼミ	佛教大学社会福祉学部 佛教大学福祉教育開発センター	2006
ヨーロッパ・アメリカ紀行記		荒井寛方 滝沢直七		
四日市公害市民運動記録集 解説		土居妙子	日本図書センター	2007
稜線詩集		編集委員会	稜線の会	1997
旅順大屠殺		井上春樹	大？出版社	2000
ルイズその旅立ち		鈴木久雄	「ルイズ」製作委員会	1998
ルポ 下北核半島 -原発と基地と人々-		鎌田慧 斉藤光政	岩波書店	2011
ルポ 生協未来への挑戦		浜中淳 横山雄太郎	コープ出版	2005
レイテ生き残り記		筒井忠勝	同時代社	1995
レベル7 -福島原発事故、隠された真実-		東京新聞原発事故取材班	幻冬舎	2012
朗読劇 この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ		地人会	地人会	2007
ワーカーズコレクティブ -地域に広がる福祉クラブのたすけあい-		福祉クラブ生活協同組合	中央法規出版	2005
若い兵士のとき		ハンス・ペーター・リヒター	岩波書店	1995
我が身は炎となりて 佐藤首相に焼身抗議した由比忠之進とその時代		比嘉康文	新星出版	2011
若者の人間関係と情報媒体	調査報告書	日本青年館 青年問題研究所	日本青年館 青年問題研究所	2003
忘れられた人びと -中国残留婦人たちの苦闘の歲月-		良永勢伊子	新風舎	1996
わたしが生きた敗戦直後		戦争と学徒の青春を考える会	戦争と学徒の青春を考える会	1999
私たちが戦後の責任を受けとめる30の視点		熊谷伸一郎	合同出版	2009
わたしと教育勅語		戦争と学徒の青春を考える会	戦争と学徒の青春を考える会	1998
わたしの8月15日		戦争と学徒の青春を考える会	戦争と学徒の青春を考える会	1997
私の戦争		黒木和雄	岩波書店	2004

わたしは日本軍「慰安婦」だった -日本にも戦争があった3-		李容洙 高柳美知子	新日本出版	2009
私は何をしたか 栗林一石路の真実		栗林一石路を語る会	信濃毎日新聞社	2010
我、自衛隊を愛す 故に、憲法9条を守る 防衛省元幹部3人の志		小池清彦 竹岡勝美 箕輪登	かもがわ出版	2007
我々はなぜ戦争をしたのか -米国・ベトナム 敵との対話-		東大作	岩波書店	2000
A public betrayed: an inside look at japanese media atrocities and their warnings to the West		Adam Gamble Takesato Watanabe	Regnery Publishing Company	2004
AARPの挑戦	アメリカの巨大高齢者NPO	日本労働者協同組合連合会	シーアンドシー出版	1997
BAREFOOT GEN LIFE AFTER THE BOMB Volume 3		中沢啓治	Last Gasp of San Francisco	2005
DAYS JAPAN 2号 2004年5月 特集 絶望のパレス		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 3号 2004年6月 特集 囚われのアフ		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 4号 2004年7月 特集 朝鮮半島38度		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 5号 2004年8月 特集 アメリカの戦争		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 6号 2004年9月 特集 「反テロ戦争」		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 7号 2004年10月 特集「占領下」の沖縄・基地と核		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
DAYS JAPAN 創刊号 2004年4月 特集 大義なき戦		広河隆一	デイズ・ジャパン	2004
FRIDAY 2月3日号		鈴木哲	講談社	1995
FRIDAY 9月29日号		鈴木哲	講談社	1995
FRIDAY 10月27日号		鈴木哲	講談社	1995
ICAアジア太平洋地域協同組合青年セミナー2001報告集		全国大学生協同組合連絡会 ICAアジア太平洋地域協同組合青年セミナー実行委員会	全国大学生協同組合連絡会 ICAアジア太平洋地域協同組合青年セミナー実行委員会	2002
KOBE発 災害救援	支えあい国境を越えて	CODE海外災害援助市民センター	神戸新聞総合出版センター	2004
NAGASAKI UNDER THE ATOMIC BOMB -Experiences of Young Collage Girls-		Michiko Nakano 中野道子	創英社	2000

Q&Qの時代を生きる		林茂夫	日本評論社	1995
The Road to the Abolition of Nuclear Weapons		Asahi Shimbun 朝日新聞	朝日新聞	1999